

現況報告

新たに炭窯を作り終えて、去年12月に初の炭出しをすることができました。大変お待たせして申し訳ございませんでした。1度失敗することで、2度目はただ作るよりも原因を考えながら炭窯を作り直すことができ、より理解が深まったような気がします。協力して下さった方々にはとても感謝しています。

その後、2回目3回目の窯焚きをすることができました。2回目の窯焚きでは、蓋をするまでの時間が短かったために煙の出口を狭く修正しました。3回目は2回目よりも8時間ほど長くなりました。このような技を少しでも多く吸収していきたいです。



3回目の窯焚きの様子



1月25日(木) 家の前の様子

2度目の冬も無事過ごすことができそうです。

去年の大晦日は初めて時山で過ごしました。除夜の鐘もつかせてもらいました。鐘の心地よい響きの中で1年を振り返ることができました。

1月25日(木)には雪が70cmほど積もりました。とても綺麗で変に気持ちが昂りましたが、雪かきの重要性と大変さがよく分かりました。主要道路の除雪作業をしっかりとって頂いたので、車で窯を確認しに行くことができ、とても助かりました。本当に有難く思います。



多良地区文化祭
2月23日(金)24日(土)
時地区文化祭
3月9日(土)10日(日)
出店させていただきます

鍼灸師としての雑感 ～一年の計は春にあり～

中華圏では、一年の始まりは二十四節気の雨水の直前の朔日(新月)になります。今年は2月10日で旧正月(春節)ですね。春や朝は共に木星に属し、他に肝(肝臓)や胆(胆のう)・筋肉なども木星に属します。初めの春や朝は肝心なのですね。朝に伸びが大切なのは筋肉を伸ばして肝を養うからだと考えます。猫は起きると伸びをしますね。春や朝には芽がぐんぐん伸びるようにできるだけ遠くへ伸びをすると気持ちもいいし、体にもいいと思います。

また、体質によりますが、春は酸味を取ると良いという人もいますし、苦みをとると良いという人もいます。美味しく感じられる方をとるといいと思います。

TEL 0584-45-3113

(上石津地域事務所 地域政策課)

ときYeah man オススメ本特集

森林保全のためにも炭焼き仲間が一人でも増えればいいなあという思いと、炭に興味を持ってくれれば販売にもつながるかなというやましい思いもあり(笑)、炭に関する本を紹介させていただきます。いずれも上石津図書館に置いてあります。興味のある方はぜひ一読を！



『トコトンやさしい炭の本』

炭活用研究会（著）、立本 英機（監修）日刊工業新聞社出版

着任したころ、炭について知識が乏しく、これからのことを考えて上石津図書館に置いてあったこの本を頼りに勉強しました。とても分かりやすい説明で、基本的な知識はこの本から学びました。

炭染め、炭石鹸の作り方などもありとても面白かったです。いずれチンチン炭ができたとき、この本に載っている炭を使った電気の作り方に挑戦してみたいです！

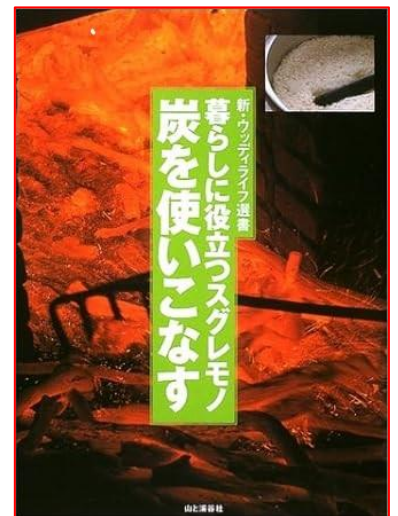
『暮らしに役立つスグレモノ 炭を使いこなす』

山と溪谷社出版

写真が豊富に掲載されていて見ごたえがあります。炭を使った商品や炭を使うのに役立つ道具などが多く紹介されていました。囲炉裏の作り方や炭火で鍛冶をするやり方も紹介されていましたが、難しそうでした。

一番驚いたのは、時山炭製炭専業だった故方山堅吾さんの紹介がありました。時山炭がピックアップされるほど有名なのだと改めて思いました。

この本にあった炭ガス自動車が普及すれば炭がもっと売れるのに…。



HANDBOOK OF CHARCOAL MAKING

炭焼き教本

簡単窯から本格窯まで

杉浦 銀治 広若 剛 高橋 泰子 監修
恩方一村逸品研究所 編



『炭焼き教本 簡単窯から本格窯まで』

杉浦 銀治、広若 剛、高橋 泰子(監修) 恩方一村逸品研究所（編集）
創森社出版

今年になって初めて借りた本です。ちょうど炭窯が作れたばかりだったので、時山以外の炭窯や炭の作り方が載っていたので違いが分かり興味深かったです。白炭の窯・ドラム缶の窯やセメントで天井を作るやり方も載っていました。

炭焼きやりたいなあと思っている方には作り方が分かりやすく載っているのでオススメです。